

群馬県議会 リベラル群馬

街頭演説1200日
県政の革命児!

県議会だより

後藤かつみ

vol.24

発行 リベラル群馬 後藤かつみ事務所
住所 高崎市八幡町800-24
TEL&FAX 027-343-1393
e-mail ccrgoto@af.wakwak.com
<http://www.ccrgoto.com/>



本会議最終日で討論する後藤かつみ

H25年度予算が成立 雇用・エネルギー施策で前進も課題の残る内容

雇用政策・新エネルギー分野などで評価できる内容

H25年度予算案が議会に示されました。

リベラル群馬が常に提言し続けてきた、雇用政策、新エネルギー分野への積極投資については一定評価できる内容となっています。

雇用政策については、景気低迷のしわ寄せを受けている、若年層・障害者に対しては踏み込んだ施策が盛り込まれています。

新エネルギー分野では、木材生産の過程で発生し、

「道路偏重」から「公共交通」への転換に課題残る

群馬県は今年度「ぐんままちづくり」ビジョンを策定し、道路偏重の政策が都市機能の拡散と公共交通の衰退を招いた反省と、高齢化社会の到来を踏まえ、公共交通を軸としたまちづくりへの政策転換を打ち出しました。

しかし、H25年度予算では、県内道路網整備に270億円と巨額の予算を計上する一方で、公共交通活性化策は目を見張るものはなく寂しい内容と言わざるを得ません。

財政健全化も課題残る

国の大型景気対策により、本県にも全額国負担の公共事業費が424億円も配分されています。これは本県の年間公共事業費の約半分にあたる規模であり、まさに「大盤振る舞い」と言えるものです。

このような時には、県負担の公共事業を抑制して借金を減らす財政運営も可能です。しかし、大沢知事は「群馬県産業の下支え」として、新年度予算では建設債を前年比100億円も増発しており、財政健全化の点では課題を残す内容と言えます。

リベラル群馬・後藤が提言する 施策の予算反映

1 経済対策

- 家庭用太陽光パネル設置補助金を継続(6億円)
- 県有施設の屋根等に太陽光パネル設置を推進(1億円)
- 木質バイオマス利用施設を2施設整備(2.5億円)

2 雇用対策

- 「ジョブカフェぐんま」を核に、県内企業へのUターン・Iターン就職の促進事業を開始(1.2億円)
- 障害者雇用支援を本格化。「障害者就労サポートセンター」を新設。県機関も障害者を5名直接雇用し、率先垂範で取り組む。(7千万円)

3 安心安全な暮らし

「発達障害係」新設し、県全体での相談体制の構築を市町村と協力して進める。

4 公共交通の再生強化

上信電鉄7駅のトイレ改修・案内看板設置等(1千万円)

5 組織強化による施策推進

○日本で4番目に多い「古墳」等、群馬の歴史資源を発信する「東国文化係」を新設。(八幡地区では昨年イベントを開催)



歴史的発見!金井東裏遺跡から発掘された、よろいを着装した人骨を調査



地域資源をエネルギーに!秩父市の木質バイオマス事業を調査